

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年5月29日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週				
	18週	19週	20週	21週	
	4月27日～5月3日	5月4日～5月10日	5月11日～5月17日	5月18日～5月24日	
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症*	530 106.00	287 57.40	401 80.20	512 102.40	
	2 0.40			3 0.60	
	11 2.20	4 0.80	3 0.60	15 3.00	
小児科定点	RSウイルス感染症*				
	咽頭結膜熱*		1 0.33	1 0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	7 2.33	2 0.67	8 2.67	8 2.67
	感染性胃腸炎	2 0.67	4 1.33	3 1.00	8 2.67
	水痘		1 0.33		
	手足口病		2 0.67	1 0.33	3 1.00
	伝染性紅斑	1 0.33			
	突発性発しん	1 0.33	3 1.00	1 0.33	
	ヘルパンギーナ*		1 0.33		
	流行性耳下腺炎				
眼科定点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎	1 1.00		3 3.00	
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎				
	無菌性髄膜炎				
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)			1	
	川崎病	1	1		
	不明発疹症			1	

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

- 2類:潜在性結核感染症 女性 1名

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 感染性胃腸炎の患者報告数が増加しています。感染性胃腸炎は細菌やウイルス、寄生虫など多様な病原体による消化器感染症の総称で、主な感染経路は糞口感染や、病原体に汚染された食品や水の摂取による経口感染です。腹痛・下痢・嘔吐を呈し、乳幼児や高齢者では脱水により重症化することがあります。
- 便や吐物の処理は、窓を開けて換気をしながら、使い捨てエプロン・ビニール手袋・マスクを着用して行い、消毒は次亜塩素酸ナトリウム希釈液約0.1%により行ってください。
- 予防は、調理や食事前、トイレ後の石鹸を用いた十分な手洗いが有効です。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- 新たな集団発生の報告はありません。

- 保健所では、手洗いチェッカーの貸出を行っています。
- 施設の感染対策として活用ください。



手洗いチェッカー

【感染症コラム～ヘルパンギーナ～】

- 乳幼児を中心に初夏から秋にかけて、発熱と口腔粘膜に現れる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎です。いわゆる「夏かぜ」の代表的感染症です。
- 感染経路は接触・飛沫感染です。
- 2～4日の潜伏期の後、突然38～40℃の発熱、咽頭痛や咽頭粘膜の発赤、口腔内に1～5mmの水疱が出現します。水疱は破れて痛みも伴います。2～4日で発熱し、7日程度で治癒します。
- 特別な治療法はなく、対症療法が行われます。水疱により食事や水分が摂取しにくいので、柔らかく薄味の食事を工夫し、水分補給を心がけることが大切です。
- まれですが小児に髄膜炎や心筋炎などが起こる場合があるため、頭痛や嘔吐、発熱が続く場合は、主治医に相談しましょう。
- 回復後も2～4週間に渡り便中にウイルスが排泄されるため、発疹を触った後・排便後・乳幼児のおむつ交換後は、手洗い、換気、環境消毒等を徹底しましょう。
- アルコール消毒が効きにくいウイルスのため流水と石けんで手洗い、塩素系の消毒薬で環境を整えましょう。

【お知らせ】

- 国内で麻しん(はしか)が流行しています。
- 麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力が非常に強く、同じ空間にいただけで感染することもあります。
- 予防にはワクチン接種が有効です。2回接種していない方は、接種を検討してください。



大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594